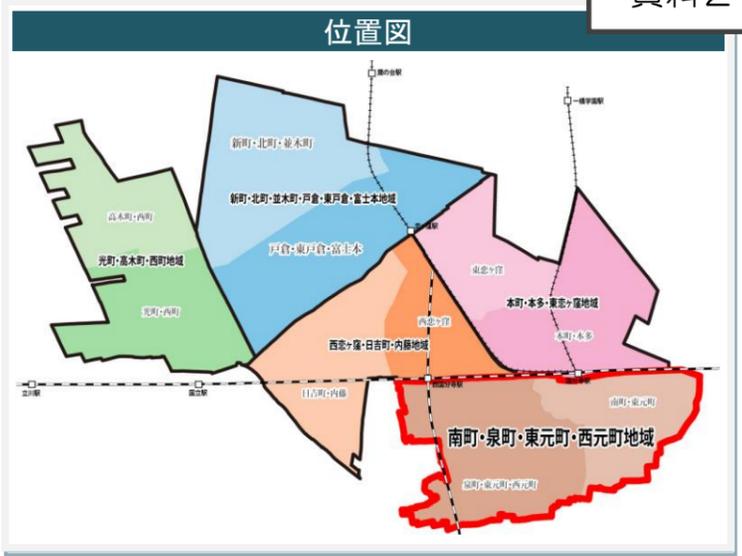


地域

南町・泉町・東元町・西元町

<地域の概要>

- 本地域は、中央線の南側に位置する市南東部の地域です。
- 地域内には市内の主要駅となる国分寺駅、西国分寺駅が位置し、駅周辺には商業・業務系の建築物が集積しています。
- 地域南西には武蔵国分寺跡をはじめとする歴史資源が多く集積しています。



1. 地域の特徴

基礎情報			
	市全域	地域	
		市全域に対する割合	
面積 (ha)	1,148	244	21.3%
市全体人口 (人)	平成 15 年 111,121	平成 20 年 114,936	平成 25 年 118,035
人口 (人)	27,646	27,972	29,365
人口密度 (人/km ²)	11,330	11,464	12,035
人口割合 (%)	24.9	24.3	24.9
世帯数 (世帯)	13,458	14,095	14,982
世帯人員 (人/世帯)	2.1	2.0	2.0

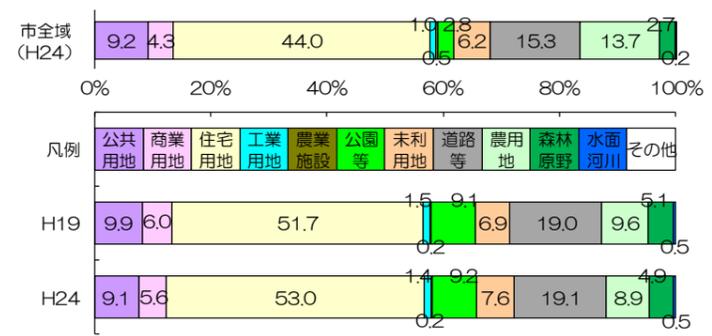
資料：住民基本台帳（各年1月現在）

緑・景観形成

- 本市の特徴的な国分寺崖線や、野川が流れているなど、多くの自然資源が残っています。
- 地区南西部には、武蔵国分寺跡をはじめとする多くの歴史・文化資源が集積しています。
- 西国分寺駅南東には、市内で規模の大きい泉町公園（武蔵国分寺公園）が整備されています。

土地利用

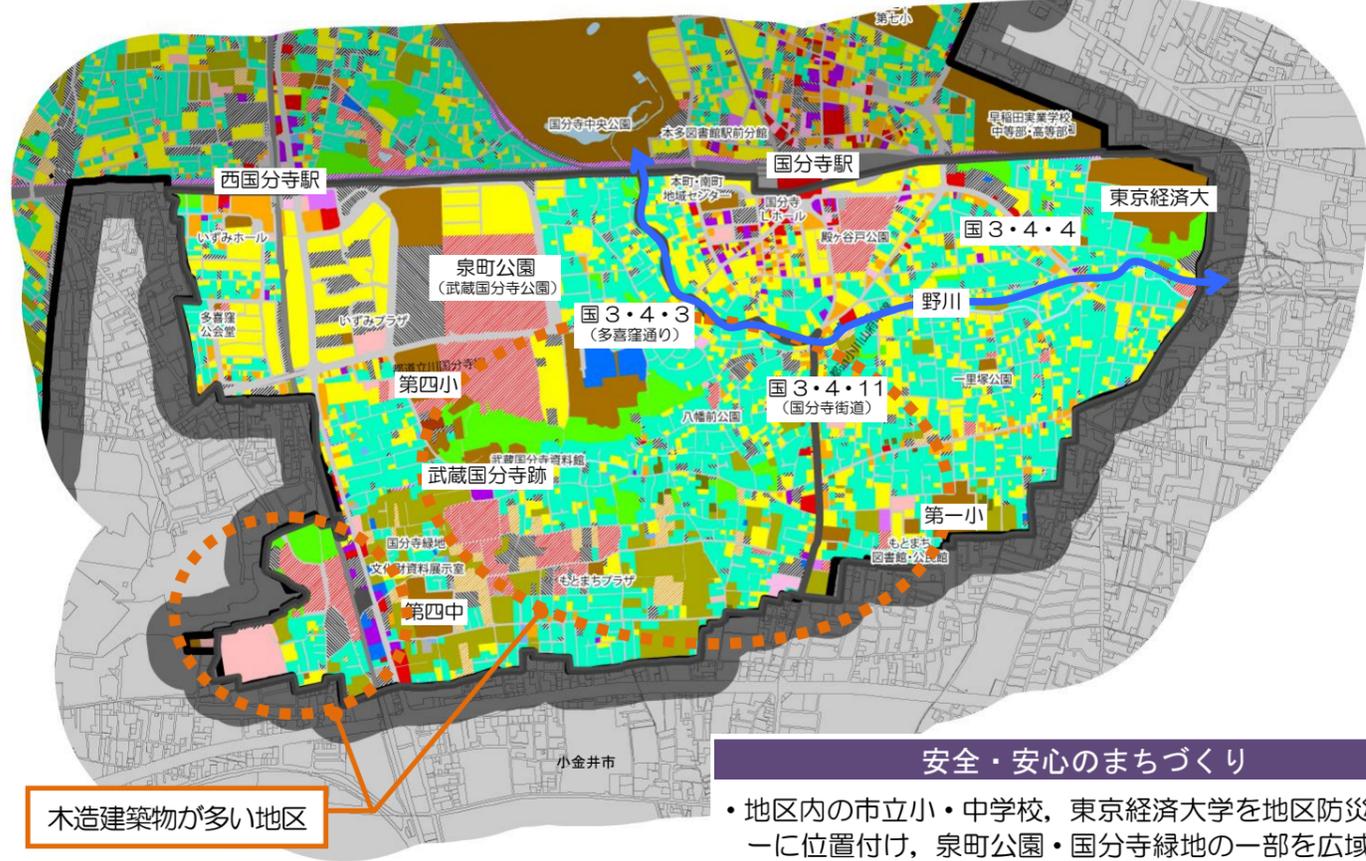
- 本地域の土地利用は、住宅用地が5割超と多いです。
- 商業用地、公園等は、市全体と比べて多くなっています。一方で、農地は、市全体と比べて少なくなっています。
- 住宅用地が増加傾向にあり、農用地（農地・採草放牧地）や商業用地が減少傾向にあります。



資料：土地利用現況調査

道路・交通基盤

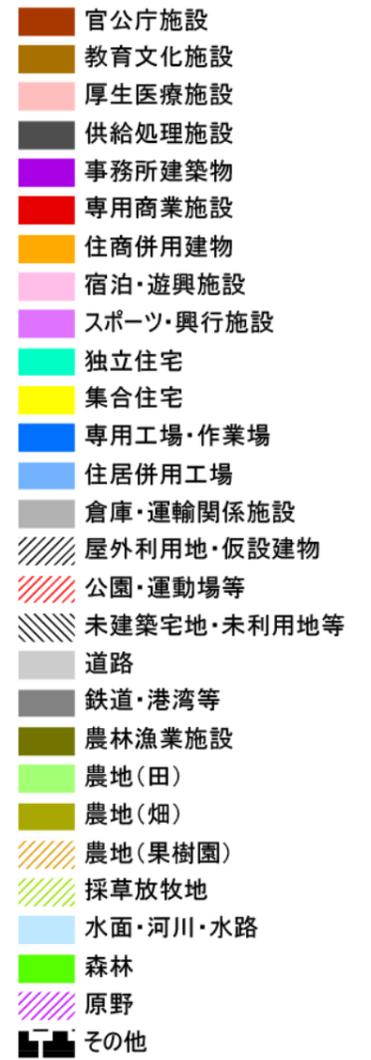
- 地域内道路の7割超が幅員6m未満となっており、狭い道路が多いです。
- 幹線道路（都市計画道路）は、国3・4・3号線と国3・4・4号線等が部分的に進められ、歩道が設置されていますが、国3・4・11号線は歩行者や自転車が安全に通行できる空間が整備されていません。



木造建築物が多い地区

安全・安心のまちづくり

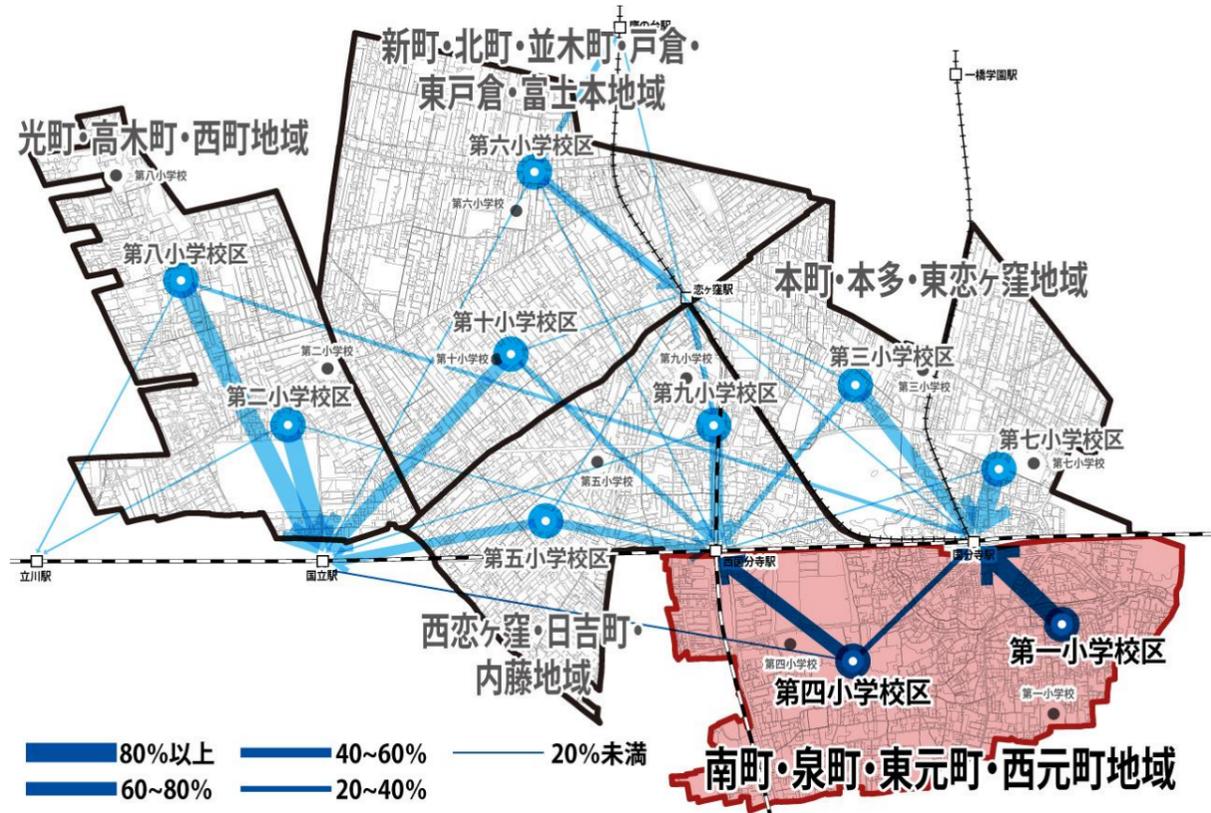
- 地区内の市立小・中学校、東京経済大学を地区防災センターに位置付け、泉町公園・国分寺緑地の一部を広域避難場所に位置づけています。
- 地区内は戸建て住宅が多くなっており、一部には、木造建築物の割合がやや高い地区も見られます。



2. 市民意識調査結果

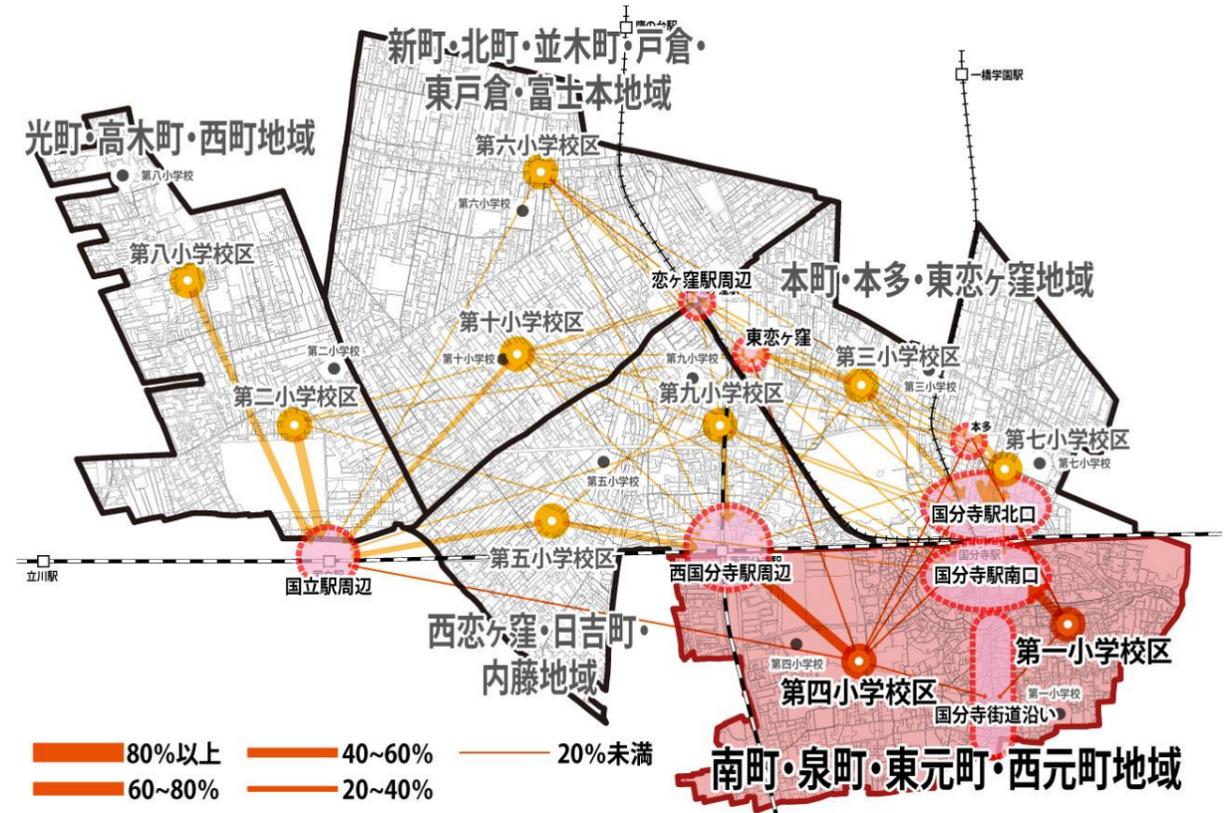
通勤時の駅利用状況

○本地域の通勤・通学に利用されている駅は、第一小学校区では国分寺駅が8割を超えています。第四小学校区では西国分寺駅が多くなっており、国分寺駅も利用が見られます。



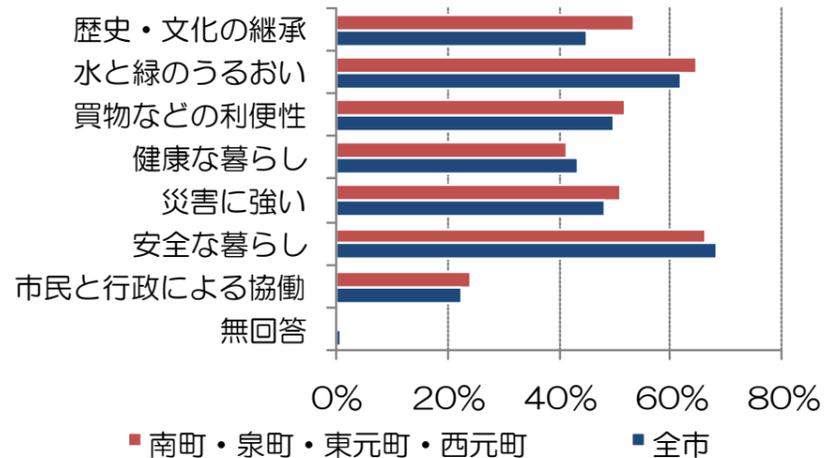
日常的な買い物先の状況

○本地域で日常的な買い物先は、第一小学校区では国分寺駅南口、第四小学校区では西国分寺駅周辺が他の場所よりも多い傾向にあります。



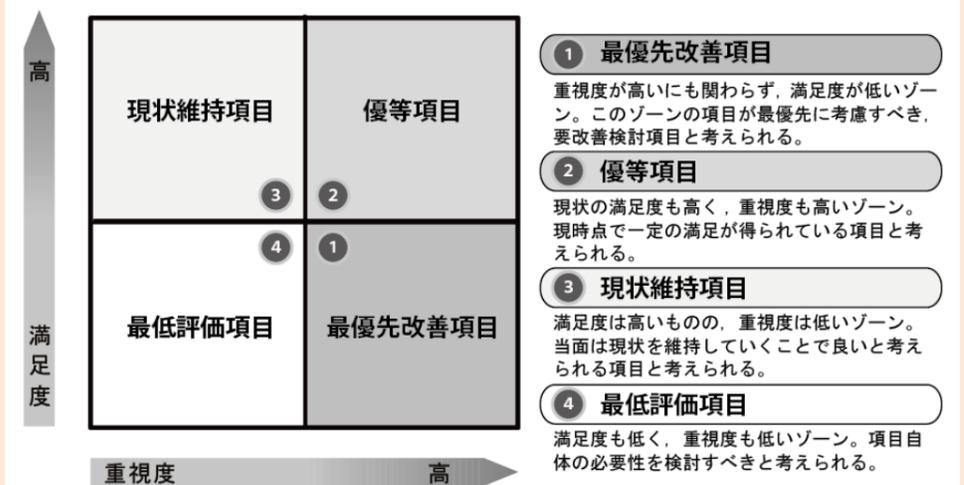
目指すまちのすがたとして重視すべきキーワード

○重視すべきキーワードは、「安全な暮らし」、「水と緑のうるおい」、「歴史・文化の継承」が上位の項目です。
○全市と比較すると、同様の傾向を示しているものの、「歴史・文化の継承」は全市の割合よりも高い傾向にあります。



満足度・重視度調査結果の見方（次頁）

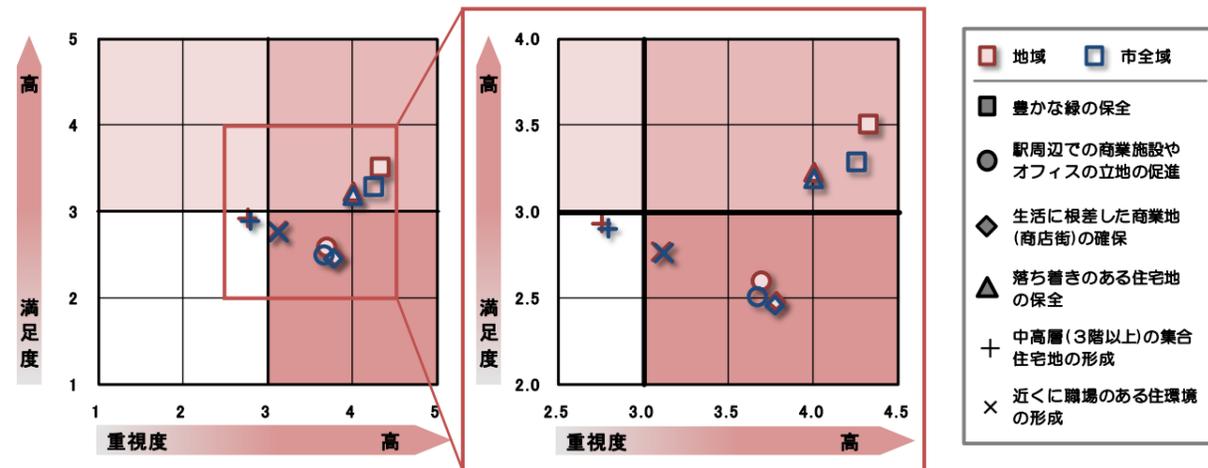
○次頁で整理している各分野のまちづくりに対する満足度・重視度調査では、それらの結果を掛け合わせることで、改善点の抽出を行ない、改善施策立案・優先順位付けのための分析を実施しています。



分野別まちづくりの満足度・重視度

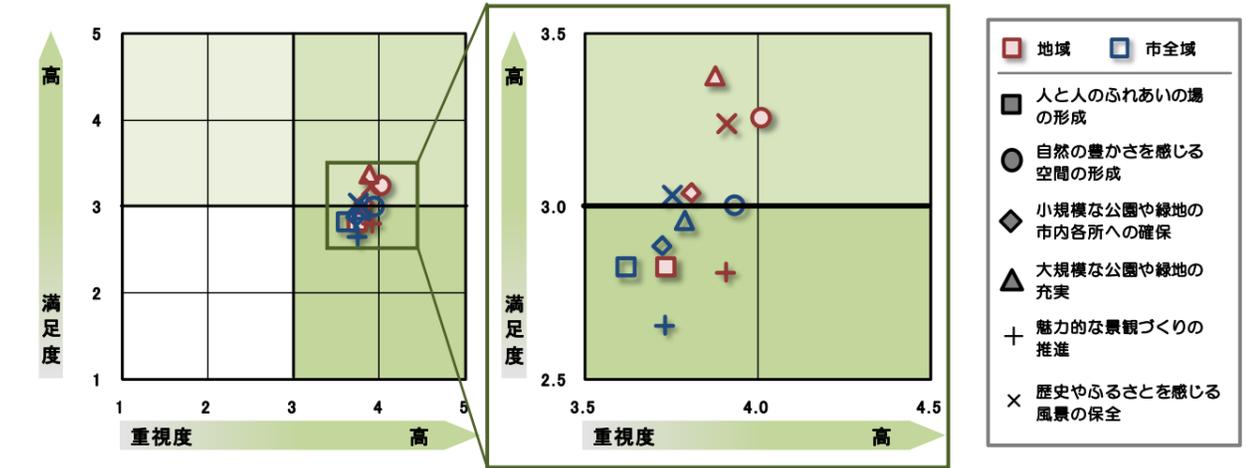
土地利用

- 本地域では、「近くに職場のある住環境の形成」、「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」、「生活に根差した商業地（商店街）の確保」が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「豊かな緑の保全」、次いで「落ち着いた住宅地の保全」、「生活に根差した商業地（商店街）の確保」という順です。



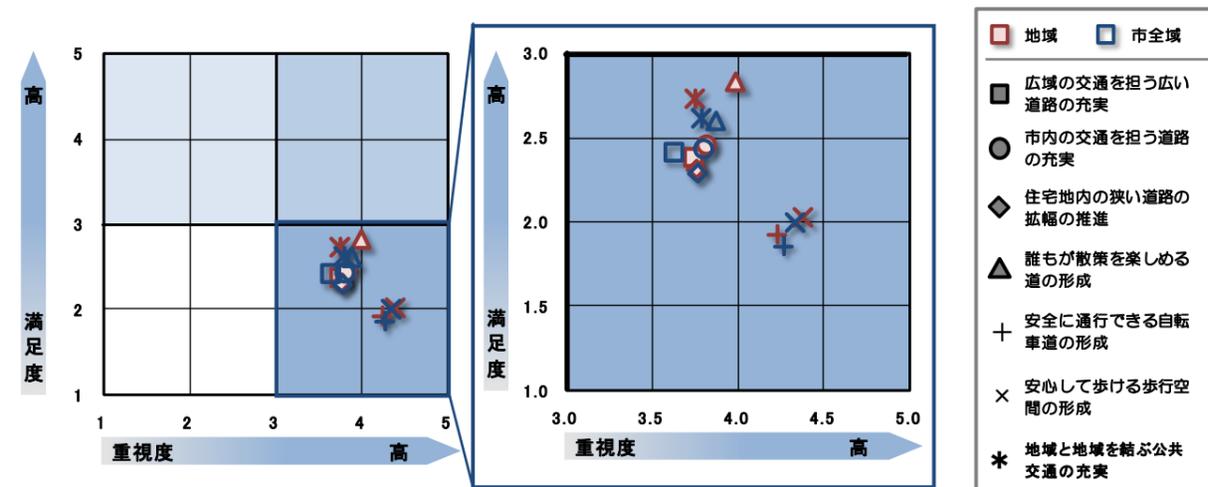
緑・景観形成

- 本地域では、「人と人のふれあいの場の形成」、「魅力的な景観づくりの推進」の2項目が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「自然の豊かさを感じる空間の形成」、次いで「歴史やふるさとを感じる風景の保全」、「魅力的な景観づくりの推進」という順です。「大規模な公園や緑地の充実」についても「魅力的な景観づくりの推進」と同程度の値となっています。



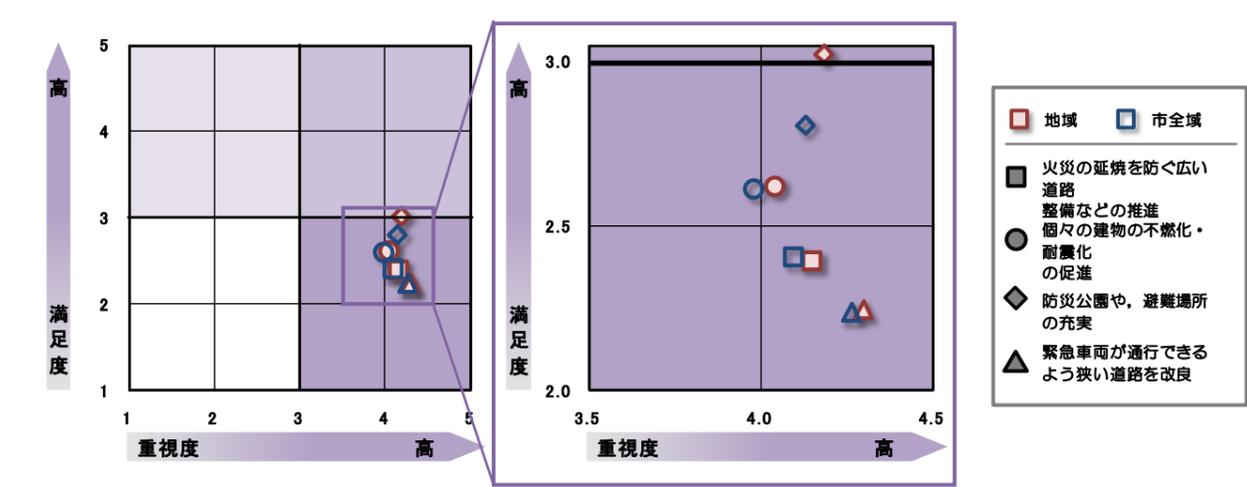
道路・交通基盤

- 本地域では、全項目が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「安心して歩ける歩行空間の形成」、次いで「安全に通行できる自転車道の形成」、「誰もが散策を楽しめる道の形成」、「市内の交通を担う道路の充実」という順です。



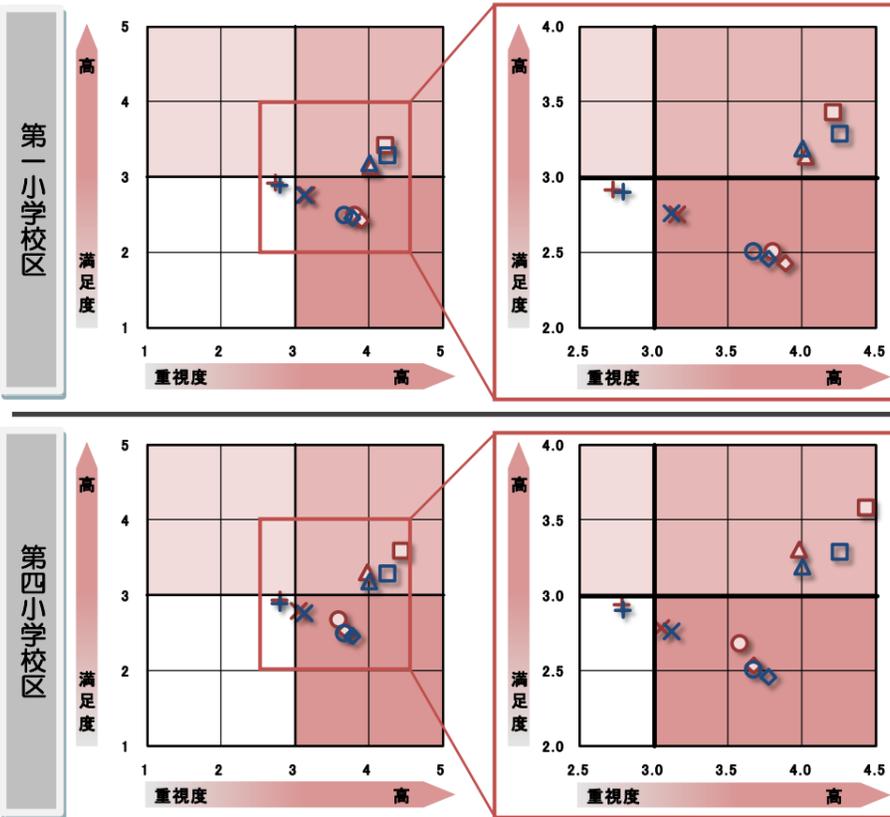
安全・安心

- 本地域では、「防災公園や、避難場所の充実」以外の3項目が最優先改善項目です。
- 重視度が最も高いのは、「緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良」、次いで「防災公園や、避難場所の充実」、「火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進」という順です。



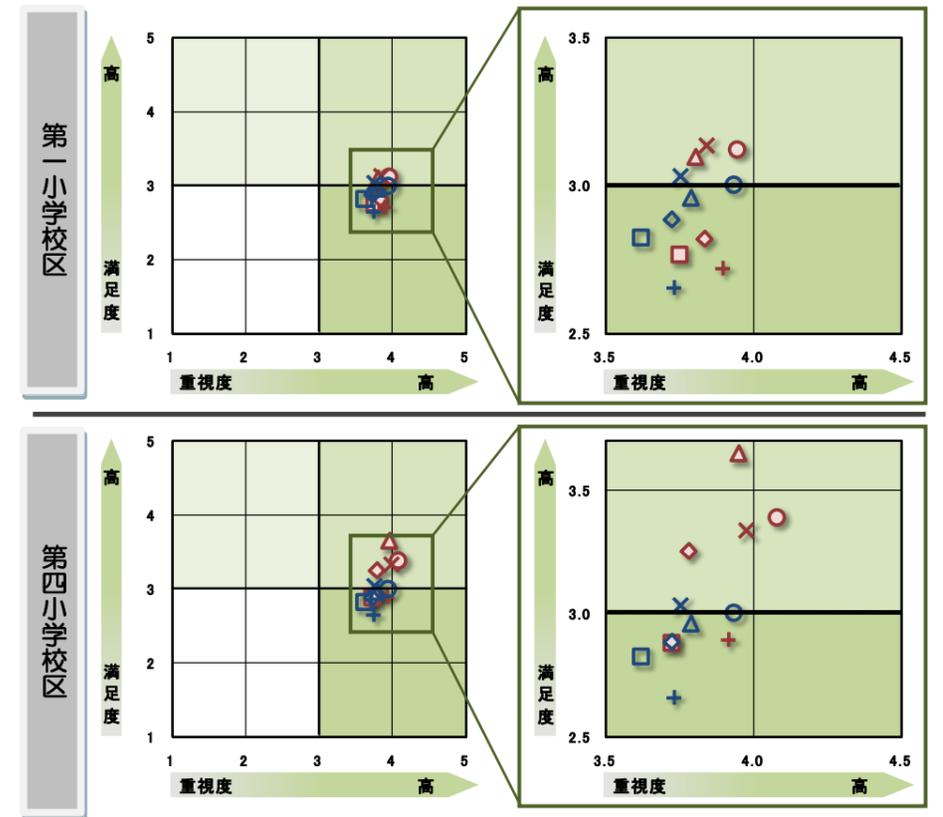
土地利用

- 地域 □ 市全域
- 豊かな緑の保全
- 駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進
- ◆ 生活に根差した商業地(商店街)の確保
- ▲ 落ち着いたある住宅地の保全
- +
- ×
- × 近くに職場のある住環境の形成



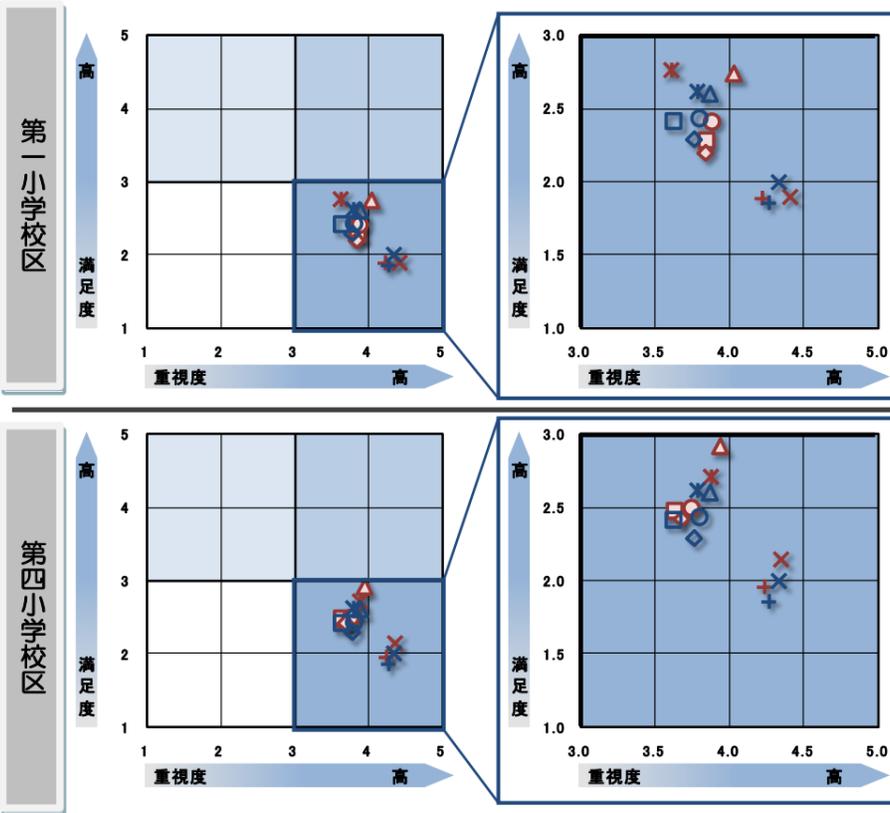
緑・景観形成

- 地域 □ 市全域
- 人と人のふれあいの場の形成
- 自然の豊かさを感じる空間の形成
- ◆ 小規模な公園や緑地の市内各所への確保
- ▲ 大規模な公園や緑地の充実
- +
- ×
- × 魅力的な景観づくりの推進
- × 歴史やふるさとも感じる風景の保全



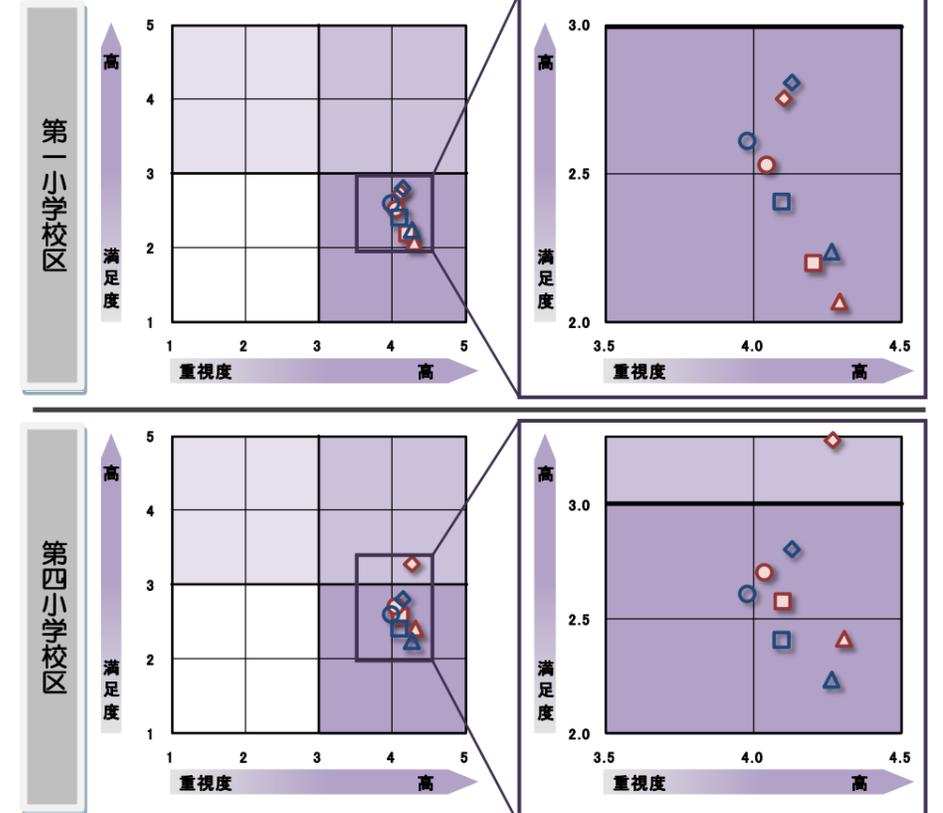
道路・交通基盤

- 地域 □ 市全域
- 広域の交通を担う広い道路の充実
- 市内の交通を担う道路の充実
- ◆ 住宅地内の狭い道路の拡幅の推進
- ▲ 誰もが散策を楽しめる道の形成
- +
- ×
- × 安全に通行できる自転車道の形成
- × 安心して歩ける歩行空間の形成
- * 地域と地域を結ぶ公共交通の充実



安全・安心

- 地域 □ 市全域
- 火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進
- 個々の建物の不燃化・耐震化の促進
- ◆ 防災公園や、避難場所の充実
- ▲ 緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良



3. 地域の課題と考えられるまちづくりの方向性

土地利用に関する課題と考えられるまちづくりの方向性

■『豊かな緑の保全』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.32/市平均 4.26) 満足度 (3.51/市平均 3.29) 自由回答では、「緑豊かだが、近年減ってきている」、「緑の保全が第一」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 西元町3丁目に生産緑地^{※1}が多く分布しています。生産緑地は、緑豊かな住宅地を形成する重要な要素です。この生産緑地は、宅地転用で年々減少傾向にあります。 武蔵国分寺跡からリオン(株)を通り、野川に沿って、本市の特徴的な緑である崖線が連続して分布しています。

考察

- 集約して分布する生産緑地は、本地域の緑を構成する要素であり「豊かな緑の保全」が求められていますが、今後の買取申請を行うことが可能となる時期^{※1}をきっかけに敷地が分割され、宅地開発による小規模宅地が発生し、緑が減少する可能性があります。
- このため、緑豊かでゆとりある住環境を維持するための取り組みが必要です。
- 武蔵国分寺跡からリオン(株)を通り、野川に沿って分布する崖線は、本市の重要な緑です。
- このため、適切に樹林を保全する取り組みが必要です。

■『落ち着いたある住宅地の保全』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.00/市平均 4.00) 満足度 (3.23/市平均 3.19) 自由回答では、「落ち着いたある緑豊かな街」、「住み心地がよい」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵国分寺跡付近を除く第1種低層住居専用地域^{※2}の住宅は、95割を超え、かつ生産緑地も分布していることから、落ち着いたある住環境を形成しています。 市内の住宅の内、新耐震基準制定(昭和56年)より前に建築された住宅は約2割と耐震性に問題があります。

考察

- 「落ち着いたある住宅地の保全」に加え、防災の観点から「個々の建物の不燃化・耐震化の促進」が求められていますが、第1種低層住居専用地域内には古く、耐火性の低い建物が多く分布しており、地震による倒壊、火災延焼による被害の拡大が懸念されます。
- このため、落ち着いたある住環境を維持しつつ、災害に強い建物への更新を促進することが必要です。

■『生活に根差した商業地(商店街)の確保』

■『駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<p>【生活に根差した商業地(商店街)の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.78/市平均 3.77) 満足度 (2.48/市平均 2.46) <p>【駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.69/市平均 3.67) 満足度 (2.60/市平均 2.51) 自由回答では、「商業地区を充実して欲しい」、「商店街、商店が少ない」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の商業店舗数は年々減少傾向にあります。 国分寺駅周辺・西国分寺駅南口地区は、本市の中心的な商業地であり、多くの商業施設が集積しています。また、都市生活・文化交流の拠点に位置付けています。 国分寺街道沿いは、近隣商業地域に指定されていますが、年々店舗は減少する傾向にあります。 武蔵国分寺跡は市を代表する観光資源であり、その周辺エリアは、歴史観光の中心ですが、観光を支援する店舗等が少ないのが現状です。 国3・4・11号線は優先整備路線^{※3}に位置付けています。

考察

- 「生活に根差した商業地の確保」に次いで「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」が求められ、特に、商業地区としての充実を望む自由回答も見られました。
- このため、本地域では、都市生活・文化交流拠点として、駅北口地区と連携しつつ、国分寺駅南口地区の商業機能の充実を推進するとともに、本市の中心的な商業地として、特色ある商業地づくりが必要です。同様に、西国分寺駅南口地区においても特色ある商業地づくりをすることが必要です。
- また、国3・4・11号線の整備に併せ、国3・4・11号線沿道地区と国分寺街道沿道地区との差別化を図りながら地域の生活を支える魅力的な商業地の形成が必要です。
- 武蔵国分寺跡を中心とする歴史資源が多く分布する地域では、観光客の利便性・快適性を高めるための施設の立地を促すことも必要です。

市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

■考えられるまちづくりの方向性

『駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進』への対策

- 【対象】 国分寺駅南口地区
- 国分寺駅北口地区と連携しつつ、都市生活・文化交流の拠点となる広域的な集客力のある商業地としてのまちづくりの推進

『駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進』への対策

- 【対象】 西国分寺駅南口地区
- 都市生活・文化交流の拠点となる集客力のある商業地としてのまちづくりの推進

『落ち着いたある住宅地の保全』への対策

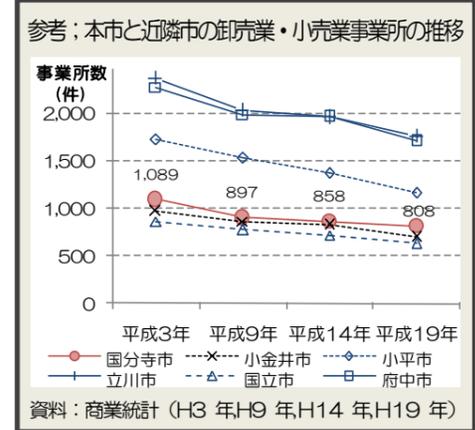
- 【対象】 第1種低層住居専用地域指定地区
- 落ち着いたある住環境への更新を促す土地利用規制の適用
 - 耐火性の高い建物へと建替の促進

『豊かな緑の保全』への対策

- 【対象】 生産緑地がまとまって分布するエリア
- ゆとりある住環境を維持するための土地の細分化の抑制
 - 農地や緑の減少を抑制するまちづくりの推進

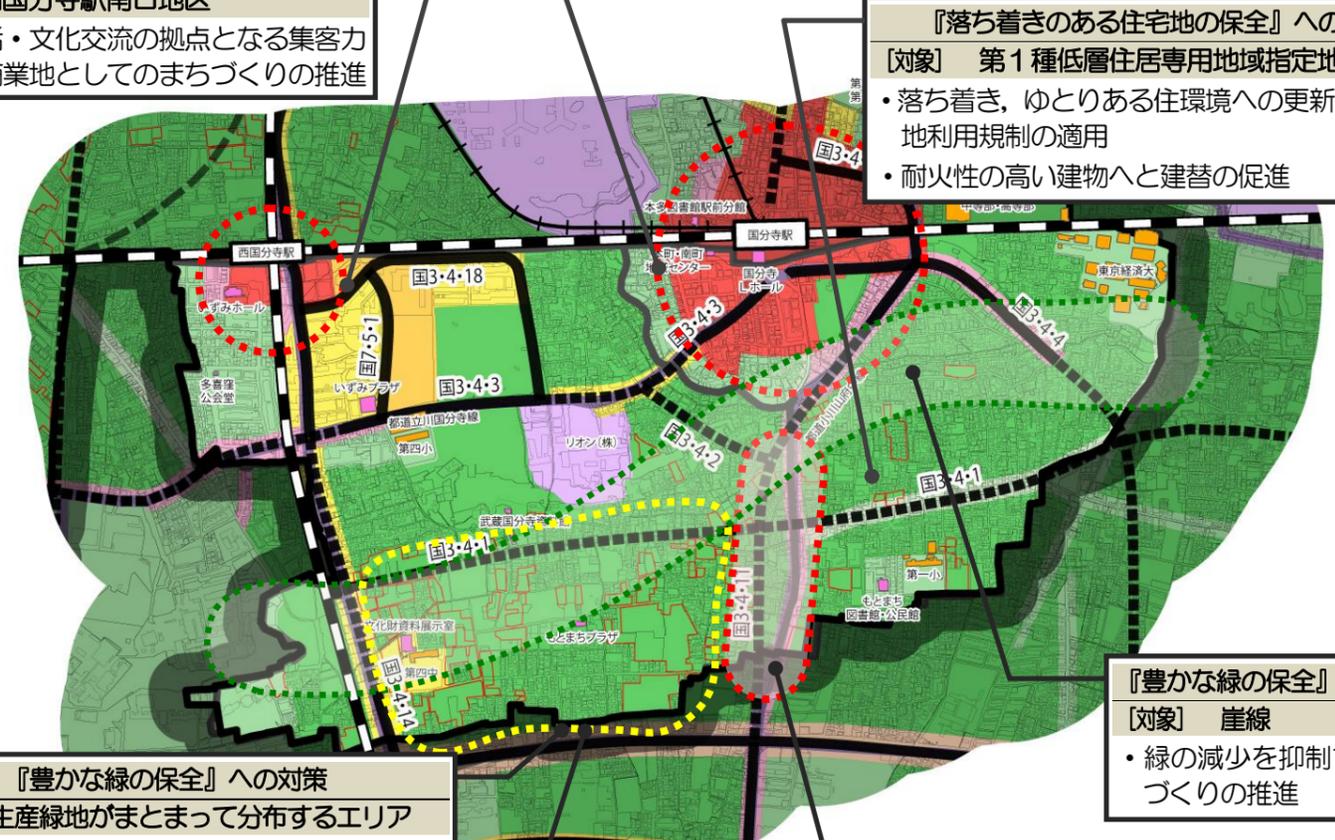
『生活に根差した商業地の確保』への対策

- 【対象】 歴史資源が多く分布する地域
- 観光客の利便性・快適性を高めるため、小規模な店舗やカフェ等の施設が立地可能な土地利用規制の緩和



凡例

用途地域	色
第1種低層住居専用地域	緑
第2種低層住居専用地域	黄緑
第1種中高層住居専用地域	黄
第2種中高層住居専用地域	黄緑
第1種住居地域	黄
第2種住居地域	黄
準住居地域	黄
近隣商業地域	黄
商業地域	黄
準工業地域	黄
工業地域	黄
生産緑地	黄
都市計画道路(整備済)	黒
都市計画道路(未整備)	黒



※1：生産緑地とは、良好な都市環境の形成をはかるため、500㎡以上の農地で、農業と調和した都市環境の保全など良好な生活環境の確保に相当の効用があり、かつ、公共施設などの土地として適している一団の区域を指定している。市内の生産緑地の多くは新制度となった平成4年に指定され、指定から30年を迎える平成34年には、所有者は市に対して買取の申請を行うことが可能となります。

※2：第1種低層住居専用地域とは、市街地の土地利用の方向性を定める用途地域の一つで、低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するため定める地域。

※3：優先整備路線とは、多摩地域における都市計画道路の整備方針(第三次事業化計画)(平成18年4月 東京都・28市町)において、平成27年度までに優先的に整備する区間として位置付けられた都市計画道路。

■『安心して歩ける歩行空間の形成』

『誰もが散策を楽しめる道の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<p>【安心して歩ける歩行空間の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.38/市平均 4.34) 満足度 (2.03/市平均 2.00) <p>【誰もが散策を楽しめる道の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.82/市平均 3.87) 満足度 (2.46/市平均 2.60) <p>自由回答では、「歩道が狭くて危険」(特に国分寺街道)、「ウォーキングコースの整備」といった意見が見られました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 都道が東西に1路線、南北に2路線あります。都道小川山府中線(国分寺街道)は歩道が一部にしかなく、交通量も多いため、歩行者に危険な道路となっています。 国3・4・11号線を優先整備路線に位置づけています。 本地域では、幹線道路(都市計画道路)の整備は国3・4・3と国3・4・4等が部分的に進められ、歩道が設置されています。 国分寺駅は交通結節点であり、周辺街路は多くの人々の利用が見られますが、駅南側の駅前広場は十分な面積がなく、タクシーや送迎、荷降ろし等の車両で混雑しています。
考察	
<p>「安心して歩ける歩行空間の形成」が求められるものの、都市計画道路以外の既設道路の幅員は狭く、安全に安心して歩くことはできません。特に、都道小川山府中線(国分寺街道)は交通量も多く、歩行者にとって危険な道路です。</p> <p>このため、都市計画道路の整備によるゆとりある歩道の設置が必要です。特に、都道小川山府中線(国分寺街道)においては、歩道がないため、並行する国3・4・11号線の整備と、国分寺街道の再整備が必要です。こうした都市計画道路の整備による「安心して歩ける歩行空間の形成」を図り、かつ既存道路を活かして街なか散策ができる道づくりを行っていくことも必要です。</p> <p>また、国分寺駅南口の駅前広場では、様々な用途の車両で混雑しているため、再整備に向けた検討が必要です。</p>	

■『安全に通行できる自転車道の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.22/市平均 4.27) 満足度 (1.92/市平均 1.86) <p>自由回答では、「自転車の通行が困難な道が多い」(特に国分寺街道)、「自動車、自転車、歩行者が安全に通行できるまちづくり」といった意見が見られました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 都道が東西に1路線、南北に2路線あります。都道小川山府中線(国分寺街道)は歩道が一部にしかなく、交通量も多いため、自転車にとって危険な道路となっています。 本地域では、幹線道路(都市計画道路)の整備は国3・4・3と国3・4・4等が部分的に進められ、一定水準の歩道が設置されています。 国分寺駅・西国分寺駅へは、自転車による多くのアクセスが見られます。
考察	
<p>「自転車の安全な通行路の確保」が求められていますが、都市計画道路以外の既設道路の幅員は十分ではなく、自転車通行帯を確保することは困難です。</p> <p>このため、未整備都市計画道路の整備、国分寺駅や西国分寺駅へのアクセスを念頭においた自転車ネットワークの形成について検討することが必要です。なお、西国分寺駅へのアクセスを念頭においた自転車ネットワークの形成、既存都市計画道路の道路幅員構成の再配分についても検討が必要です。</p>	

■『市内の交通を担う道路の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.98/市平均 3.80) 満足度 (2.83/市平均 2.44) <p>自由回答では、「国分寺跡周辺でのサインの充実」、「周辺市に比べて道路整備が遅れている」といった意見が見られました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主な市内交通を担う道路は、都道所沢府中線・都道小川山府中線が南北にあります。いずれの路線も混雑が見られる道路です。 本地域を南北に結ぶ都市計画道路は、未整備ですが、国3・4・11号線を優先整備路線に位置づけています。
考察	
<p>本地域は、交通結節点である国分寺駅が地区北端に位置していますが、未整備の都市計画道路が多く、道路整備が遅れているという意見が見られます。</p> <p>このため、国3・4・2号線、国3・4・3号線など、国分寺駅南側の交通流動の円滑化を目的に都市計画道路の整備への取り組みが必要です。また、市を南北に横断する都道所沢府中線・都道小川山府中線が混雑している現状を踏まえ、国3・4・11号線の整備を進めるとともに、国3・4・11号線と既存道路とのアクセスを円滑にする国3・4・1号線の一部区間の整備する必要があります。</p> <p>なお、国3・4・1号線西側区間については、周辺に歴史資源も集約しているため、周辺の道路ネットワークを含めた検討が必要です。</p>	

■考えられるまちづくりの方向性

『安心して歩ける歩行空間の形成』
『誰もが散策を楽しめる道の形成』への対策
【対象】 都市計画道路・既存道路

- 都市計画道路や既存道路を活かして街なか散策ができる歩行者ネットワークの形成

『安全に通行できる自転車道の形成』への対策
【対象】 国3・4・18号線等、西国分寺駅周辺都市計画道路

- 都市計画道路の未整備区間の整備の推進
- 整備済み区間での道路幅員構成の再配分の検討
- 西国分寺駅へのアクセスを考慮した自転車走行空間の形成

『安全に通行できる自転車道の形成』への対策
【対象】 国3・4・3号線等、国分寺駅周辺都市計画道路

- 都市計画道路の未整備区間の整備の推進
- 整備済み区間での道路幅員構成の再配分の検討
- 国分寺駅へのアクセスを考慮した自転車走行空間の形成

『安心して歩ける歩行空間の形成』
『誰もが散策を楽しめる道の形成』への対策
【対象】 国分寺駅南口駅前広場

- 歩行者・自転車・自動車の混雑改善に向けた再整備の検討

『市内の交通を担う道路の充実』への対策
【対象】 国3・4・11号線

- 市内の南北交通を担う道路としての整備を促進

『安心して歩ける歩行空間の形成』
『誰もが散策を楽しめる道の形成』への対策
【対象】 国3・4・11号線、国分寺街道

- 市内の南北交通を担う道路としての整備を促進
- 国分寺街道での歩行者を主体とした道路としての再整備の推進

『市内の交通を担う道路の充実』への対策
【対象】 国3・4・2号線、国3・4・3号線

- 国分寺駅南の交通流動の円滑化を目的に都市計画道路の整備の推進

『市内の交通を担う道路の充実』への対策
【対象】 国3・4・1号線(一部区間)

- 国3・4・11号線の整備と連動し、既存道路とのアクセスを円滑にする整備の推進

参考：本地域の道路幅員別延長割合

資料：平成24年度土地利用現況調査

凡例

都道	主要幹線道路	整備済	—
都市計画道路	整備済	—	
	未整備	
地区幹線道路	整備済	—	
	未整備	
第三次事業化計画(優先整備路線)		↔	
バス路線	一般路線バス	—	
	ぶんバス	—	

■『自然の豊かさを感じる空間の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.01/市平均 3.93) 満足度 (3.26/市平均 3.01) 自由回答では、「農地の宅地化の際の緑の確保」、「緑豊かな街としての特色を活かす」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵国分寺跡からリオン(株)を通り、野川に沿って、本市の特徴的な緑である崖線が連続して分布しています。 野川・真姿の池湧水群等、自然資源が残っています。 西元町3丁目に生産緑地が多く分布しています。この生産緑地は、宅地転用で年々減少傾向にあります。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 生産緑地と住宅が一体となった景観、崖線の緑が連続する景観は、本市の景観特性のひとつとなっており、「自然の豊かさを感じる空間の形成」に大きく寄与しています。 このため、住宅地における生産緑地については、減少を抑制し、崖線の緑は適切に保全し、豊かな緑がある景観を維持していくことが必要です。 	

■『大規模な公園や緑地の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.91/市平均 3.79) 満足度 (3.24/市平均 2.96) 自由回答では、「武蔵国分寺公園へのベンチの設置」、「子どもが遊べる公園の充実」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園*1は、泉町公園・国分寺緑地等があります。泉町公園は武蔵国分寺公園として整備していますが、市の代表的な歴史資源である武蔵国分寺跡を含む国分寺緑地は一部を除き未整備です。 国分寺緑地は優先整備区域**2に位置付けています。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 「大規模な公園や緑地の充実」が求められていますが、最も大きな都市緑地の国分寺緑地は一部を除き未整備です。このため、住民ニーズを踏まえつつ、未整備である国分寺緑地の整備の推進が必要です。 	

■『歴史やふるさとを感じる風景の保全』に関する市民意向と地域の現状

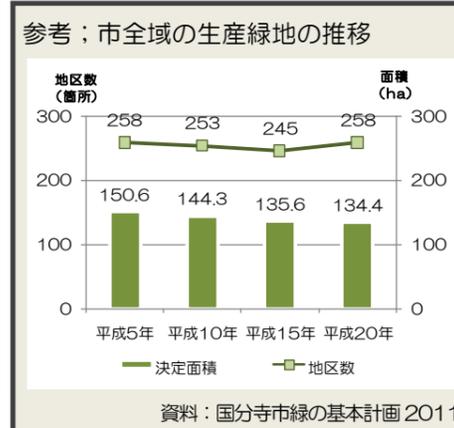
市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.90/市平均 3.75) 満足度 (2.81/市平均 3.03) 自由回答では、「緑の保全」、「お鷹の道を守って欲しい」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵国分寺跡等の多くの史跡、武蔵国分寺資料館等の歴史を学ぶことのできる施設が地区西部に集約しています。 国3・4・1号線は、歴史資源が集まる地区を横断するよう計画しています。 崖線・野川・真姿の池湧水群等は、昔ながらの自然資源であり、地区の歴史的景観を演出する重要な要素となっています。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 「歴史やふるさとを感じる風景の保全」が求められている中で、武蔵国分寺跡等の史跡が集まる地区西部は、市の歴史を親で、触れることのできる地区です。また、史跡だけでなく崖線・野川・真姿の池湧水群等は自然資源として、地区の歴史的景観を演出する重要な要素です。 このため、地区西部に分布する歴史資源、自然資源を活かしつつ、歴史的雰囲気高めながら、自然と調和した景観まちづくりが必要です。また、野川・お鷹の道等の自然資源、都市計画道路や国分寺街道を活用した歴史観光を堪能できる散策道の整備が必要です。 	

■『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.87/市平均 3.72) 満足度 (3.38/市平均 2.89) 自由回答では、「子どもも大人も使える遊具がある公園」、「子どもが遊べる公園の充実」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園は、規模の小さな一里塚公園等もあります。 現状では東元町2丁目・4丁目等が公園誘致圏空白地域**3となっています。 都市公園以外の小規模公園・緑地が存在しますが、その土地は借地である場合が多く、恒久性は担保されていません。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」が求められていますが、一里塚公園等の都市公園は未整備です。また、一方、西元町3丁目・東元町4丁目に生産緑地がまとまって分布しています。 このため、住民ニーズを踏まえつつ、未整備都市公園の中でも規模の小さな公園についても整備の検討が必要です。また、都市計画決定されている都市公園が全て整備された場合でも、東元町2丁目・4丁目に公園誘致圏空白地域が残存するため、公園の配置について検討することが必要です。 	

■考えられるまちづくりの方向性

凡例		
公園・緑地	都市計画公園 整備済(概ね整備(8割以上を含む))	
	未整備(一部整備(8割未満を含む))	
公園誘致圏	整備済(一部整備を含む)	
	未整備	
農地(都市計画基礎調査による)		
生産緑地地区		
文化財等		
埋蔵文化財等		



『自然の豊かさを感じる空間の形成』への対策
[対象] 崖線
崖線の適切な保全による、市の特色ある自然の豊かさを感じることのできる景観の保全

『大規模な公園や緑地の充実』への対策
[対象] 国分寺緑地
武蔵国分寺跡等の歴史資源を活かした都市緑地の整備の推進

『歴史やふるさとを感じる風景の保全』への対策
[対象] 国分寺緑地周辺地区
歴史資源、自然資源を活かしつつ、歴史的雰囲気を高めながら、自然と調和した景観まちづくりの推進

『自然の豊かさを感じる空間の形成』への対策
[対象] 生産緑地地区
生産緑地等の農地の減少を抑制する取り組みを進め、市の特色ある自然の豊かさを感じることのできる景観の保全

『歴史やふるさとを感じる風景の保全』への対策
[対象] 野川・真姿の池湧水群
歴史的景観を演出する要素として、野川の整備促進による散策道の形成と、魅力ある沿川景観を創出する景観まちづくりの推進

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策
[対象] 未整備都市計画公園(街区公園)
未整備都市計画公園の整備の検討

『歴史やふるさとを感じる風景の保全』への対策
[対象] お鷹の道、国分寺街道、都市計画道路
お鷹の道・国分寺街道を活かした散策路のネットワークの形成
国3・4・1号線の国3・4・11号線以西の整備の必要性検討

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策
[対象] 公園空白地域
既存の小規模公園、緑地、生産緑地などを活用した都市計画公園の再配置の検討

※1：都市公園とは、都市公園法に基づき地方公共団体または国が設置する公園・緑地。
 ※2：優先整備区域とは、都市計画公園・緑地の整備方針(改定)(平成23年12月 東京都・特別区・市町)において、整備の重要性と整備効果の高さの観点から優先的に整備することが位置付けられた都市計画公園・緑地。
 ※3：公園誘致圏空白地域とは、公園の規模に応じて設定されている各公園が対象とする誘致圏の範囲の線を引いた際、どの公園誘致圏にも当てはまらない地域。

